

# 自分の街をデザインしよう！(No.1 ①)

ワークシート1

2年( )組 ( )号 氏名( )  グループ

各地域には、昔から大切に受け継がれている文化や名所が数多く残されています。それらは、私たちの生活に潤いをもたらしてくれます。皆さんが生活している自分の街にも自慢できるものがあります。ぜひ、他の地域の方に自分の街自慢のものをアピールしましょう！

今回は、自分の街自慢のものを自分の街を訪れた人に分かりやすく、印象に残るようなマーク(ピクトグラム<sup>(※)</sup>)で表現します。自分の街自慢のものをグループで分担し、制作しましょう。

※ピクトグラムとは、形と色で分かりやすく情報を伝えることを目的とした絵文字。外国の人々や文字の読めない子供にも、情報を的確に伝えることができる。(参照/教科書2・3上P34~35、美術資料P58)

## 学習の流れ(全3時間)

1① (1/3)	「ピクトグラム」の デザインのポイント	2 (1/3)	アイデアスケッチ① (ラフスケッチ)	5 (2/3) (3/3)	マークの制作
1② (1/3)	「色彩」の学習の 振り返り	3 (2/3)	アイデアスケッチ② (検討)	6 (3/3)	作品の鑑賞
1③ (1/3)	主題の選択 ・自分の街のイメージ ・自慢のもの	4 (2/3)	アイデアスケッチ③ (下描き)		

1 デザインするモノを「誰にでも分かるマーク(ピクトグラム)」で表現しましょう。また、グループで統一感のあるデザインにしましょう。

(1) グループで統一感のあるデザインにするために、話し合しましょう。

① 「自分の街」のよいイメージ(特徴)についてグループで考えましょう。

自分の街のイメージ

② 完成したマークを使用する場所やものを決めて、誰にでも分かるデザインを考えましょう。

[例] ・商品のパッケージ ・店舗の案内板 ・パンフレット など

使用する場所やもの

(2) 自分が担当した種類を○で囲み、デザインするモノを書きましょう。

【種類】 [ 特産物 ・ 工芸品 ・ 観光地(史跡) ・ 観光地(自然) ]

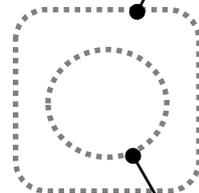
デザインするモノ

(3) 話し合った内容を基に、アイデアスケッチをしましょう。

「誰にでも分かる」マークにするためのアイデアスケッチのポイント

- **統一感** ・ グループで共通する形を使う。  
・ 「自分の街」をイメージする形をマークの枠にする。  
・ 使用する場所を考えて、誰にでも分かるデザインにする。
- **形** ・ 枠の形(グループ)と担当の形(個人)をデザインする。  
・ デザインするモノの特徴が分かるように単純化や強調をする。  
(美術資料 P58 参照) ※定規やコンパスなどを使用してもよい。  
※色紙で制作するため、線は太く表現する。
- **色彩** ・ デザインするモノの特徴が分かるように、配色を考える。  
・ 使用する色は、白、黒を含む 2 色～3 色とし、配色の効果を生かす。  
(美術資料 P50～51 参照) ※色鉛筆で配色計画をする。

自分の街のイメージ  
(グループで考える。)



自慢のもの  
(個人で考える。)



① 自分の街のイメージ

※マークに共通して使用するものを「自分の街のイメージ」から選び、形を考える。

② マークのアイデアスケッチ(ラフスケッチ)

※①の形と組み合わせて描く。(実物の大きさ)